

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 高齢者における慢性硬膜下血腫の術後予後に対する研究

研究の目的

慢性硬膜下血腫は、外傷や腫瘍の硬膜転移、抗血栓薬の使用などによって硬膜下で血液が貯留することで発症します。治療は穿頭血腫ドレナージ術、開頭血腫除去術といった外科的治療が行われ、特効薬などの内科的治療はありません。一般的には予後良好とされ、全身状態良好であれば高齢者においても手術は安全に行われると報告されていますが、高齢者では術後合併症や日常生活動作（ADL）悪化の可能性があります。高齢化に伴い高齢者の慢性硬膜下血腫は今後も増加すると推定されているため、高齢者の慢性硬膜下血腫術後の合併症や再発率など予後に関して調査が必要です。多施設における慢性硬膜下血腫患者を後方視的に調査することで高齢者の術後予後について明らかにし、より確かな適応症例を検討することができると考えられます。

研究実施期間： 2022年6月21日 ～2023年3月31日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2011年～2016年の当院、共同研究施設における慢性硬膜下血腫術後症例

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

診療録を利用し、慢性硬膜下血腫に対し手術を施行した患者の年齢、性別、既往歴、内服薬、手術前後の診察・検査結果（診察所見、画像検査）、再発の有無、術後合併症を調査します。この研究で使用する情報は、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）データです。なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

収集したデータは、匿名化し統計処理を行います。倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学研究に関する倫理指針」）に則り個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表の際も個人が特定されない形で行います。対象の方より拒否の申し出があった場合、研究対象から除外し削除します。すでに研究結果公表済みの場合は修正することはできませんのでご了承ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済みの場合は、該当者のデータの

みを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先：

脳神経外科学講座 大学院生 木下 翔平
Tel: 0172-39-5115 Fax: 0172-39-5116